

係活動の手引き

その8 係活動の発展

係活動を発展させていくことは、子どもたちの成長にとって大切なことです。係活動を発展させる際には、教師は日頃から活動の様子を観察し、実態を把握しておく必要があります。その観点をまとめておきます。

■教師が押さえておくべきこと■□■

(1) 指導上の問題について

- *所属の決定段階で問題はなかったか。
- *活動の方法を全員に分からせることができていたか。
- *指導が過剰になっていなかったか。
- *過度の期待をしていなかったか。

(2) 人間関係の問題について

- *係の中に従属関係はできていないか。
- *リーダーはうまく育っているか。
- *協力（合力、助力、分担）のバランスはとれているか。

(3) 一人ひとりの意欲について

- *個性や特性を考慮した指導ができていたか。
- *環境などは意欲喚起に役立っていたか。

(4) 活動計画について

- *学級の実態に応じた「ねらい」を立てていたか。
- *活動内容に無理はなかったか。

(5) その他の手だてについて

- *活動時間の確保は行ったか。
- *活動に必要な物の整備はできているか。
- *活動を認める場の設定は十分か。

また、今まで活動がうまくできなかったという**子どもの反省を分析する観点**も必要です。私の経験では、子どもたちは次のように分類できそうです。

*責任転嫁タイプ

活動できなかったことを人のせいにしてしまうタイプ。自分にできることは何だろう、ということを考えさせるようにするといいようです。そして、教師が力を貸してでも成功体験を味わわせることが大切です。

*忘れんぼタイプ

活動すること自体を忘れてしまっているタイプ。ちょっとした活動でもいいので、毎日できることをいっしょに考えてあげるといいです。そして一つでもクリアできたら、しっかりほめてあげましょう。

*責任感欠乏タイプ

「活動しなければならぬ」という思いが希薄なタイプです。自分の楽しみ（遊びなど）を優先してしまいがち。当番的なものより、本人がやりたいことを重視してみるといいようです。そういうことでも学級（みんな）のためになるということを楽しむといいです。

*意欲喪失タイプ

何にでも意欲を示さないタイプです。やること自体を面倒くさがる場合が多いようです。これも本人がやりたいことをいっしょに見つけてあげることが大切です。そして、先生といっしょに活動させてみると効果があります。

係の子どもが、どのタイプに属するかで、指導の方法も変わってくるのではないかと思います。これも教師が押さえるべきことでしょう。

■係のステップアップ■□■

◆ステップアップへのポイント◆

その1 リクエストタイムでステップアップ

係活動をステップアップさせるには、活動内容を見直させることがポイントです。ただ、自分たちの活動を見直すというのはなかなか難しいもの。そこで、お互いの活動に希望や要望を出し合わせる「リクエストタイム」というのを行います。

学期末に行い、次学期の活動の参考にさせましょう。

その2 自分らしさを生かしてステップアップ

一般的な活動に飽きてくると、活動が停滞してきます。そのような場合には、所属する子のよさを生かす活動を取り入れるように助言しましょう。

係活動は、学級生活をよりよくするために行うもの。つまり「公」としての性格が強いものですが、そこに「自分の楽しみ」を取り入れるのです。言い換えれば、「**オレ流係活動**」。係活動に「私」の楽しさを取り入れ、それをみんなに広げるようにしていくのです。

その3 学級生活向上に生かしてステップアップ

活動内容を、次の3つの立場から見直させましょう。

まず「**みんなのためになる**」という立場から。自分たちの活動のどこをどのように変えていけばみんなのためになるのかを考えさせます。

次に「**仲間づくり**」という立場から。活動によって、みんなが触れ合えるもの、関わり合えるものを考えさせます。

最後に「**子どもの文化づくり**」という立場から。このことによって、学級としての文化を作り出すことにつながります。

その4 学習活動とのリンクさせてステップアップ

学習した内容を発展させる内容を係活動で取り上げさせるように仕組みましょう。そのような係を新しく設置するというのも考えてみたらおもしろいと思います。